

中学部事業所見学・体験



中学部では全学年、様々な場所・人・物・天候の中で働く経験を積み上げています。そこで培った経験を将来の自分の生活と照らし合わせて、夢や志を大きく膨らませ目標を抱き日々の学習に向き合う生徒を育てています。

これから紹介する「事業所見学・体験」は、将来の社会人とはどのような人なのかをイメージし、憧れをもつための最高のステージとなっています。今後も、学校から出て地域で、企業で、大人の社会で、たくさん経験を積んでいきたいと思います。
(中学部進路指導主事 藤川 治也)

中学部2年3, 4, 5組 事業所見学・体験

多機能型 障がい福祉事業所『城西の杜』



ドーナツの仕上げでグラニュー糖をまんべんなくまぶすのが難しかったです。



考えてきた質問を職員の方に聞きました。分かったことをメモしました。



タオルの端と端をきちんと合わせてたたむのが難しかったです。



自分で仕上げたドーナツは、最高に美味しかったです。



高等部第1学年 事業所見学

6月13日（金）に高等部第1学年が事業所見学を行いました。十和田市内の一般企業や就労継続支援A型・B型、自立訓練の事業所を見学しました。見学先には本校の卒業生が就労している事業所もあり、生徒の事業所見学への関心がとても高かったです。また、質疑応答では、高齢者の方とどんな交流をしているか、難しい仕事は何か、働くために必要な力は何かなどの質問に対してアドバイスを聞くことができ、働くことや卒業後の進路について考える良い機会となりました。

◇見学先一覧◇

事業所名	備考
①特別養護老人ホーム八甲荘（B型、グループホーム）	平成31年度卒業生
②就労継続支援事業所 情熱（A、B型）	令和3年度卒業生
③農園カフェ日々木（A、B型）	昼食場所
④多機能型事業所リナシタ（B型、自立訓練）	自立訓練は宿泊型



①特別養護老人ホーム八甲荘



③農園カフェ日々木



②情熱



③農園カフェ日々木



④多機能型事業所リナシタ





進路希望調査を受けて



進路希望調査を実施した中で、質問・相談事項がいくつかありましたので、お答えします。今後も、進路のことや福祉情報等について、質問・相談がありましたら、学級担任までお話しください。

質問1：親が様々な理由で子供の援助や世話が困難になった時の福祉サービスの内容が知りたいです。



放課後等デイサービス

放課後から17時半頃までの療育の場があります。仕事をする保護者の方が利用するケースも多いですが、保護者の休息の機会を設けるという側面もあります。

短期入所

在校生の例でいくと、平日のほとんどを利用する人もいれば、月に1~4回週末利用という人まで利用日数の幅があり、家庭のニーズによって異なります。家庭で見ることができないことに備えて利用できるようにしておくと思えます。これは児童のうちから利用できるのもので、居住地にある事業所を情報集から探してはどうでしょうか。もみのき学園も空きがあれば利用できます。

施設入所支援

高等部卒業後の話ですが、この地域では空きのある事業所はわずかです。

グループホーム

食事、お金の管理の支援等をしていただけますが、自分の身の周りのことはおおむね一人でできることが求められます。

居宅介護

自宅にヘルパーさんが来て生活面の支援を行います。

重度訪問介護

高等部卒業後の話で、重度の肢体不自由者で、日常生活全般で援助が必要な方の生活や外出支援を行います。

※これらのサービスなど、様々なことをまとめたもの（社会福祉法人 全国社会福祉協議会作成の「障がい福祉サービスの利用」（インターネットで検索していただくと閲覧可能）を参照ください。



質問2：高等部の受検について

高等学校と特別支援学校高等部と異なりますが、特別支援学校高等部（本校）を例にお伝えします。本校では愛護手帳（または医師が知的障がいと認める意見書）のある中学校または特別支援学校中学部卒業生に受検資格があります。昨年度は面接（本人、保護者）と学力検査（国語、数学）を行っていましたが、今後は変更があるかもしれません。また、受検前に体験入学を必ずいただいています。本校は上北地区の特別支援学校ですが、選択肢として本校以外にも受検することができます。

質問3：卒業生の就労先（仕事内容）が知りたいです。



ここ数年では介護補助（シーツ交換、消耗品補充、消毒、配膳、清掃等）、製造業（工場でのライン作業）が多いです。それ以外にも、小売業、清掃、農業や事務補助のところもありますが、地域によって受入のないところもあります。すでに雇用いただいている事業所に今後も雇用いただけるかは分からないため、いろいろな企業へ職場体験のお願い等をして職場開拓をしています。

質問4：高等部卒業後の進学について、どういった進学先があるのか知りたいです。



障がい者職業訓練校が弘前市にあります。
知的障がいの方は「作業実務科」のみ対象になります。また、生活拠点が変わるようになるため、グループホームや自立訓練（宿泊型）の利用が必要になります。詳しく知りたい方は担任へお知らせください。

質問5：わが子が高3になったときにどのような状態なのか？予測できない部分も多く、進路について決めるのはまだ難しいです。今できることとして、必要なことはなんですか。



進路決定というより、どういう進路先があるのかを知っていただき、いろいろな可能性を広げる意味で、下記の職業準備性ピラミッドの土台部分の強化や必要なコミュニケーション能力、公共施設や交通機関の利用などに取り組んでいただき、自分で身の回りことができる力を高めていくことが大切だと思います。中学部になれば事業所見学の機会が増えたり、高等部では職場体験の機会が増えたりします。そうした中で、自分の得意なことを見付けていければ良いと思います。あとは、大雑把な考え方にはなりますが、人と関わるのが好きなのか（小売り、福祉等）、黙々と作業に取り組むのが好きなのか（製造業等）、屋内と屋外での作業等の希望があるのかも参考にすることもできると思います。

学校生活で身に付けたいこと ～職業準備性ピラミッド～



(参考：高齢・障害・求職者雇用支援機構)